



# スタートアップガイド

Windows10(32bit/64bit)搭載パソコンへの  
G-Trace.net2 のインストール手順

G-MEN GR01 / GR20 /GR100 対応

G-Trace.net2のインストールは、必ず本書の手順に従って行ってください。  
本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。

注意1.全てのWindows10(32bit/64bit)搭載のパソコンの動作は保証できません。

注意2.Windows7、Windows8(32bit/64bit)搭載パソコンへのG-Trace.net2 の  
インストールは可能です。但し、全てのWindows7、Windows8  
(32bit/64bit)搭載のパソコンの動作は保証できません。

注意3.ネットワーク接続されセキュリティ管理されたパソコンへはインストール出来ない  
場合があります。社内ネットワーク管理者にご相談ください。

注意4.Windows10 はセキュリティが厳しく  
左記の「ドライバーソフトウェアの発行  
元を検証できません。」の警告が表示され  
る場合があります「このドライバーソフト  
ウェアをインストールする」を選択でき  
ない場合はG-Trace.net2 は、ご使  
用になれます。



2020.08

## ソフトウェアをインストールする

※注意!インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。

1 CD-ROM ドライブに「G-Trace.net2」を入れる

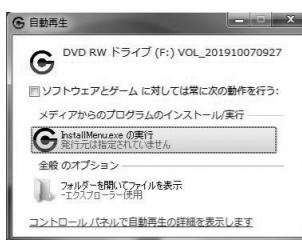
2 インストールメニューの実行

Windows10 の場合



「InstallMenu.exe の実行」を選択します

Windows7 の場合



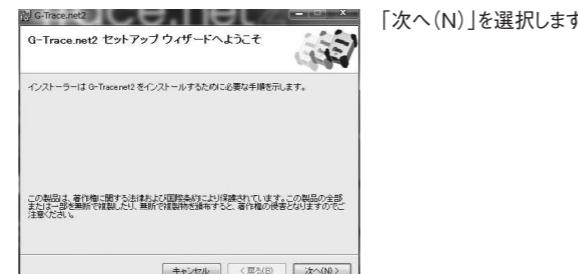
「InstallMenu.exe の実行」を選択します

3 G-Trace.net2 のインストール

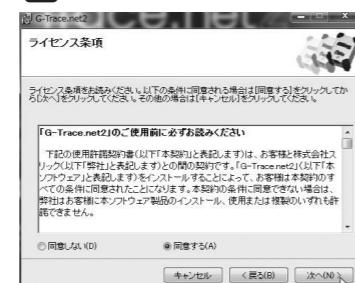


しばらく時間がかかります

4 「G-Trace.net2」セットアップウィザード



5 ライセンス条項



ライセンス条項の内容を確認し、同意い  
ただける場合には「同意する」を選択し、  
「次へ(N)」を選択します

6 インストール先のフォルダを選択



G-Trace.net2 をインストールするフォル  
ダを選択します  
G-Trace.net2 を使用するユーザーを選択  
します  
「次へ(N)」を選択します

7 インストールオプション

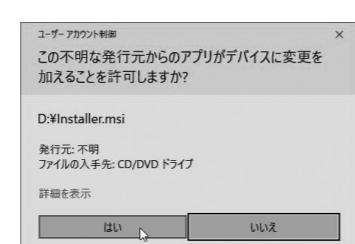


「次へ(N)」を選択します

8 インストールの確認



「次へ(N)」を選択します



「ユーザー アカウント制御」が表示され  
ます「この不明な発行元からのアプリ  
がデバイスに変更を加えることを許可  
しますか?」  
「はい(Y)」を選択します

9 「G-Trace.net2」をインストール



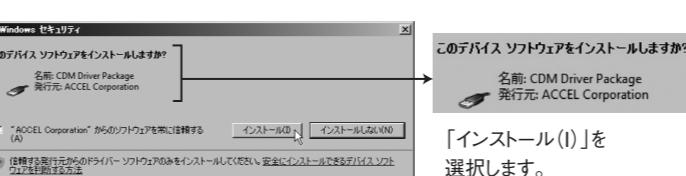
「G-Trace.net2」を  
インストールしています

10 デバイスドライバーのインストールウィザードの開始



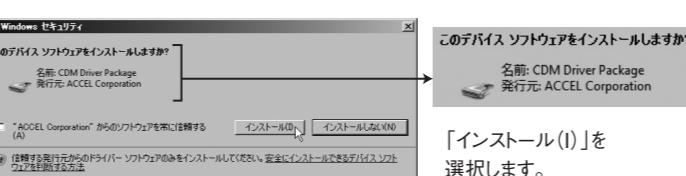
「次へ(N)」を選択します

11 デバイスドライバーのインストールウィザード



「インストール(I)」を  
選択します。

12 デバイスドライバーのインストールウィザード



「インストール(I)」を  
選択します。

13 デバイスドライバーのインストールウィザードの完了



「完了」を選択します

14 インストールの完了



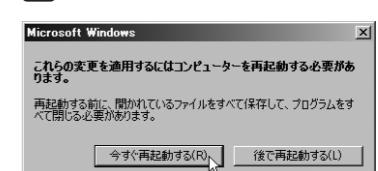
「閉じる」を選択します

15 インストール画面を閉じる



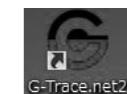
画面右上の「×」を選択します

16 コンピューターの再起動



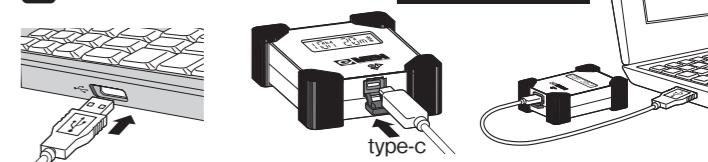
「今すぐ再起動する(R)」を選択する

17 ショートカットアイコンの確認



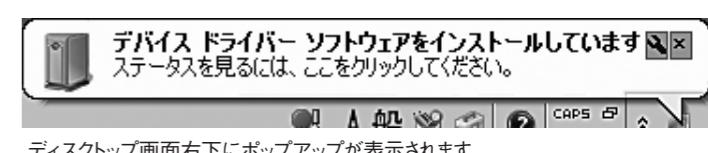
デスクトップ画面上に「G-Trace.net2」の  
ショートカットアイコンが自動的に作成されます

18 パソコンと本体を接続します。 ※USB2.0 を推奨

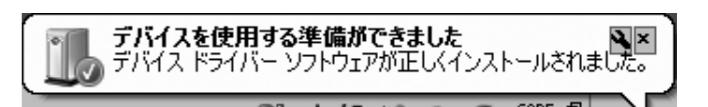


本体のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを付属の  
USB ケーブルで接続します

19 デバイスドライバーの自動インストール

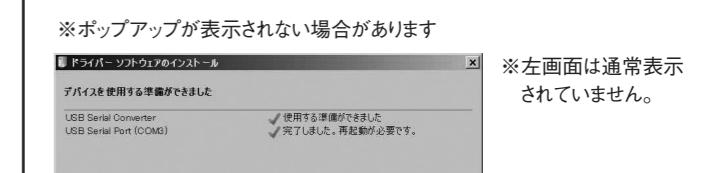


ディスクトップ画面右下にポップアップが表示されます



正しくインストールされてから使用できます

注 意!



※デバイスドライバーソフトウェアのインストールは「USB Serial Port  
(COM\*)」と「USB Serial Converter」がインストールされます  
※デバイスドライバーソフトウェアのインストールはパソコンの機種に依っては  
時間がかかります  
※インストール途中での中止やUSB ケーブルを抜く行為は、デバイスドライバ  
が正しくインストールされない為、G-MENとの接続が正常に行えません

## はじめてつかうG-Trace.net2

# G-Trace.net2 (G-MEN GR01・GR20・GR100対応)

### 第1章 G-Trace.net2 とG-MEN

- 1 起動と接続
- 2 複数のG-MENとの接続

### 第2章 G-MEN GRで振動を計測してみよう

- 1 G-MEN GRに計測条件を設定する。
- 2 G-MEN GRの計測を開始する。
- 3 G-MEN GRに振動を加える
- 4 G-MEN GRの記録データを取得する。
- 5 G-MEN GRの取得データを保存する。
- 6 G-MENのレンジ変更と重力加速度変更
- 7 マグネットスタートは

G-Trace.net2 のユーザーズマニュアルは、ソフト上のヘルプをご利用いただくようお願いいたします。

ここでは簡単にG-MENの計測をG-Trace.net2よりどのように設定するか記載しております。

クリックすると下記画面が表示されます。この画面ではG-MEN GRの計測条件を任意に設定できます。

ここでは出荷時のG-MEN内部に記録されている設定を利用します

画面左下のG-MEN本体から受信をクリックしてください クリックすると下画面の計測条件の項目が表示されます。

本体番号 [1]  
サンプリング周期 [0.001秒]  
応答周波数 [100Hz]  
記録間隔 [1秒]  
ハザード [0.0]  
しきい値 [0.0]  
しきい値超検出 [OFF]  
エンドレス記録 [OFF]  
開始オプション [5]  
液晶表示オプション [00]



上記の設定ではG-MEN GRの測定開始を実行すると開始オプション5で、USBケーブルを抜いてから、5秒後から始動し1秒で1データを記録します。内容は記録間隔1秒間の中で0.001秒ごとサンプリング計測してそのデータの中でXYZ軸のそれぞれのピークG値を記録し温度・湿度も記録します。

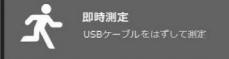
条件を変更するには各項目の一覧ボタンまたは各項目の▲▼で数値を指定します。条件設定が終わりましたら画面右下の【OK】ボタンをクリックしてスタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面で設定した計測条件が反映しているか確認してください。左半面に設定した数値が表示されています。

計測条件の画面では計測したい内容により色々な設定の組み合わせができるます。詳しくはヘルプをご参照ください。

## 2 G-MEN GRの計測を開始

スタートメニューの画面より即時測定と予約測定開始が選択できます。

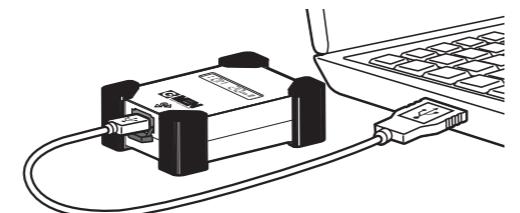
即時測定の場合スタートメニューの右図ボタンをクリックします（計測条件は入力済ですか）



## 第1章 G-Trace.net2とG-MEN

### 1 起動と接続

G-Trace.net2の起動とG-MENとの接続



G-MENとの接続は、G-Trace.net2の起動後でも起動前でもどちらでも構いません。

スタートメニューからG-Trace.net2を選択、またはデスクトップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-Trace.net2を起動します。



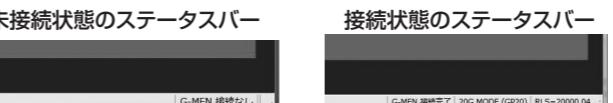
（スタートメニュー画面）

G-MENを接続するとG-Trace.net2は現在のG-MEN接続状態を、スタートメニュー/データ表示画面のどちらにおいても、接続の有無を表示しています。

### スタートメニュー画面



### データ表示画面



スタートメニューの画面のステータスバーにも同様に表示され機種と接続状態本体RLS番号が表示されます。  
G-MEN本体の液晶には【CoMPLETE】と表示されます。  
G-MENとパソコンの接続の確認が出来ない場合  
G-MEN本体とUSBケーブルを再度抜き差しする。それでも確認が出来ない時は、USBドライバのインストールが失敗している可能性があります。

### 2 複数のG-MENとの接続

G-Trace.net2は複数のG-MENと同時に接続はできません。複数のUSBポートを持つパソコンにG-MENを複数接続しても1台のコンピュータに対し1台のG-MENの認識になります。

## 第2章 G-MENで振動を計測してみよう

### 簡単な計測をしてみましょう。

第一章でG-MENはG-Trace.net2で接続の確認がとれましたか。

#### 計測の流れ

- 1 G-MEN GRに計測条件を設定する。
- 2 G-MEN GRの計測を開始する。
- 3 G-MEN GRに振動を加える
- 4 G-MEN GRの記録データを取得する。
- 5 G-MEN GRの取得データを保存する。



### 1 G-MEN GRに計測条件を設定

ここでは出荷時の設定を利用します。  
G-MEN GRを付属USBケーブルでPCと接続します。

G-MEN GRがPCで認識されるとG-MEN接続完了と表示されます。

画面左下の【G-MENの設定を変更】をクリックする

G-MENの設定を変更

### 3 G-MEN GRに振動を加える

G-MEN GRを左右に振ったり軽く机にコンコンとたたいたりしてください。  
静止状態でも構いません。

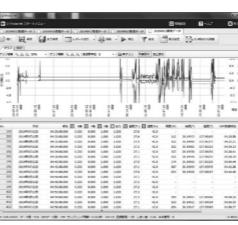
### 4 G-MEN GRの記録データを取得する

G-MEN GRとPCを再度USBケーブルで接続してください。  
G-Trace.net2ソフト画面上でG-MENの接続されていることを確認してください。  
本体液晶には【CoMPLETE】と表示されます。  
G-MEN GR本体の液晶ではケーブルを抜くと【WAIT 05】からカウントダウンして【1s 1m】と【26.3c 45rh】【記録間隔・サンプリング周期】【温度・湿度】の表示が交互に点滅します。



データの読み取りが終了するとデータ表示画面にデータリストとグラフが表示されます。

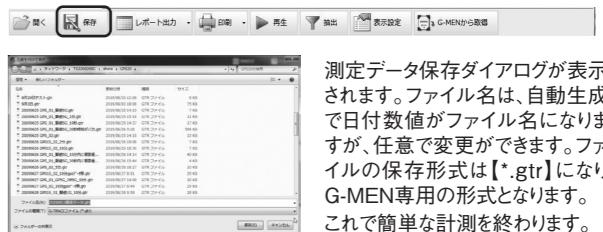
データリストには今読み取りをしたG-MENの情報が表示されています。  
データ数・サンプリング周期・応答周波数・記録間隔・しきい値・本体番号  
データリストの日付はスタートした日・記録間隔に準じて表示しているのを確認してください。データ内容はXYZの3軸・温度・湿度となります。加速度の初期単位はG・m/sec<sup>2</sup>・GAL】任意に選択できます。データ項目の合力は $\sqrt{(X^2 + Y^2 + Z^2)}$ です。



\*日付は設定したPCの時計を認識しますので、パソコンの時計(日時)が間違っている場合はG-MEN GRの取得された日付データも間違ったものになります。

### 5 G-MEN GRの取得データを保存する

メニューより保存を選択。



測定データ保存ダイアログが表示されます。ファイル名は、自動生成で日付数値がファイル名になりますが、任意で変更ができます。ファイルの保存形式は【\*.gtr】になります。G-MEN専用の形式となります。これで簡単な計測を終わります。

### 6 G-MENのレンジ変更と重力加速度変更

#### ●レンジの変更

GR01は最大測定値1G・2G

GR20は最大測定値10G・20G

選択可能

下図最大測定値変更ボタンを

クリックして変更する



#### ●重力加速度検出

GR01・GR20の重力加速度検出

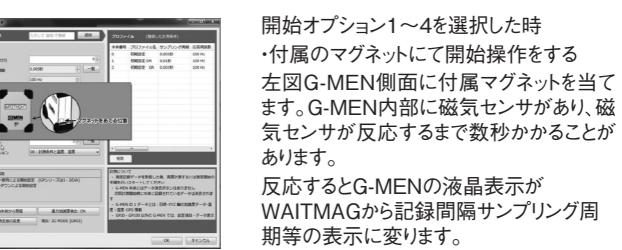
ON・OFF選択可

下図重力加速度検出をクリックして

ON・OFFを選択



### 7 マグネットスタートは



開始オプション1～4を選択した時  
付属のマグネットにて開始操作をする  
左図G-MEN側面に付属マグネットを当てる  
G-MEN内部に磁気センサがあり、磁気センサが反応するまで数秒かかることがあります。

反応するとG-MENの液晶表示が  
WAITMAGから記録間隔サンプリング周期等の表示に変わります。